



十郷用水

十郷用水は、九頭竜川中流の鳴鹿大堰から右岸の坂井平野に取水する用水のうち、もともと古く中心的な用水で、この絵図（二〜三頁）はその江筋と各組合村をダイナミックに示している。

陸道、図の右上すみには丸岡城が描かれ、一見模式的な図に見えるが、左の明治時代の二万分の一地形図と比べてみると、かなり正確に描かれた図であることに驚かされる。

この地形図が示す土地利用は、水田の広がりが一様でなく、とくに手のひらのように分岐していく部分を含む用水の幹線が、微高地（畑地）を利用し

